

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

溶存酸素量が5.0mg/Lを下回っている地点があります。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最大3細胞/mL、魚類に対して無害とされていますが、二枚貝の変色（赤変）を引き起こすメソディニウム・ルブラムが最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が藻津で1.05細胞/mL、大島中央で0.34細胞/mL、小筑紫中央で0.57細胞/mL、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が小筑紫中央で0.01細胞/mL確認されました。

ディノフィシス属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルブラム
A 藻津 (-/36m) 【09:56】	0	25.0	29.3	6.5	1	0	0
	4	25.4	34.1	5.9	2	0	1
	★ 5	25.4	34.1	6.2	0	0	1
	10	25.4	34.1	5.9	1	0	0
	15	25.4	34.1	6.0	-	-	-
	20	25.4	34.1	5.8	-	-	-
B 大島中央 (-/31.1m) 【10:04】	0	25.2	30.8	5.9	1	0	0
	5	25.4	34.1	6.1	3	0	0
	★ 9	25.4	34.1	6.0	0	0	0
	10	25.4	34.1	6.0	1	0	0
	15	25.4	34.1	6.0	-	-	-
C 小筑紫中央 (-/48m) 【10:12】	0	25.3	30.9	6.0	1	0	0
	5	25.5	34.0	6.4	0	0	0
	★ 10	25.4	34.1	5.6	1	0	0
	15	25.4	34.1	6.1	-	-	-
	20	25.4	34.1	6.1	-	-	-
D 栄喜奥 (-/11.7m) 【10:48】	0	24.1	14.8	7.4	0	0	1
	★ 2	25.4	34.0	6.1	0	0	0
	5	25.6	34.2	5.2	0	0	0
	10	25.6	34.2	4.7	0	0	0
E ヒロウラ (-/23.9m) 【11:07】	0	23.6	18.2	6.9	0	0	0
	3	25.6	34.1	5.8	0	0	0
	★ 5	25.6	34.2	5.2	0	0	0
	10	25.6	34.2	5.2	0	0	0
	15	25.5	34.2	5.5	-	-	-
	20	25.5	34.2	5.8	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルブラム
F 青瀬山 (-/16.1m) 【10:55】	0	22.2	1.3	8.5	0	0	0
	★ 3	25.6	34.1	5.7	0	0	0
	5	25.6	34.2	5.3	0	0	0
	10	25.6	34.2	5.3	0	0	0
	15	25.6	34.2	5.3	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

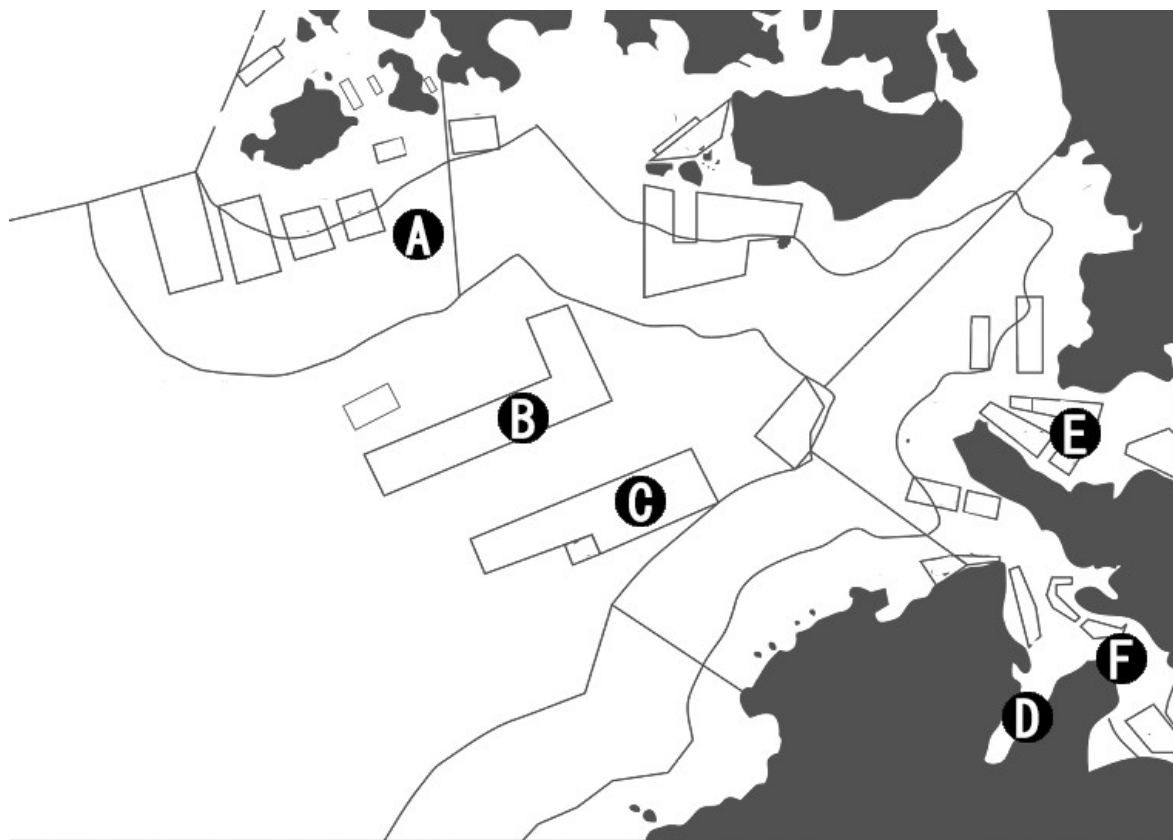
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 藻津
B: 大島中央
C: 小筑紫中央
D: 栄喜奥
E: ヒロウラ
F: 青瀬山

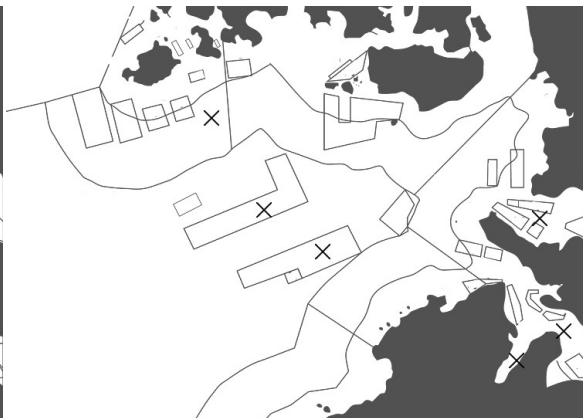
シャットネラ属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



メソディニウム・ルブラム

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

